

森林環境教育・久留米市立高良内小学校 2019.2.8

久留米市立高良内小学校は、高良山の南にあり、高良川や田畑など自然に恵まれた環境に位置しています。日頃より、環境教育に熱心で、昭和37（1962）年3月より56年にわたり、高良川や高良山のごみ拾いを通したグリーンスカウト活動を実施しています。

今回、5年生98名を対象に校庭の樹木観察と森林の働き等の講話を行いました。まずはノーズでのアイスブレイク。学校のシンボルツリーである「イチヨウ」には反応が早く、指は即座に鼻の頭に・・・自信たっぷりに声を合わせて答えてくれました。次いで出題された「ソメイヨシノ」には手こずり、初めて耳にしたのでしょうクロンの説明は観察時の課題としました。



樹木観察は時節柄、葉っぱや木の実が少なかったため、土の働き、根の働き、幹の内部に腐れがあっても生きていける理由（形成層の話）、自らキズを治す巻き込みなどの解説に耳を傾け、直接手を触れたりもしました。

運動場の周りや校庭（ふれあいの広場）にある樹木たちの生きざまや、したたかさを知ることで、木への関心を高めるのが狙いです。



その後は屋内のグリーンホールに移動。森林の働き、森林の形態（天然林と人工林）、木を育て森林を守る林業、木を使うに至るまでの講和を通して環境への影響についても学習しました。

ちょっと難しく、覚えることが多かったと思いますが、さすがに日頃、環境教育に接しているだけあって、スタッフからの投げかけにも敏感に反応して貰いました。

帰りに寄せていただいた校長室には圧巻のオブジェがあって、スタッフ一同くぎ付けとなり、どんぐりクラフトの温かみにも触れさせていただきました。

スタッフ：石橋、木村、出口、大森、轟、西田、千種、田川、廣、戸町、諸石

（報告：諸石）

